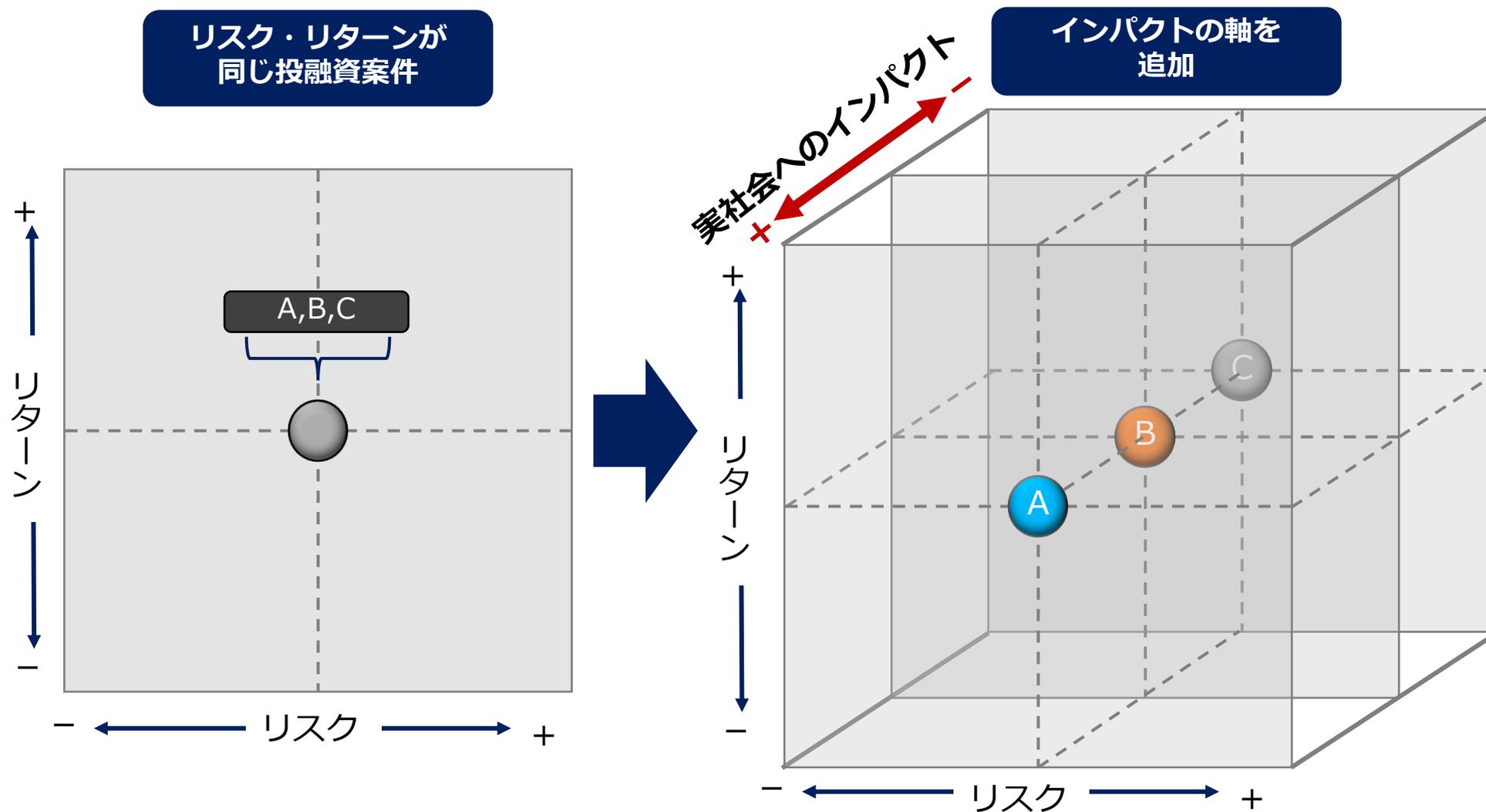
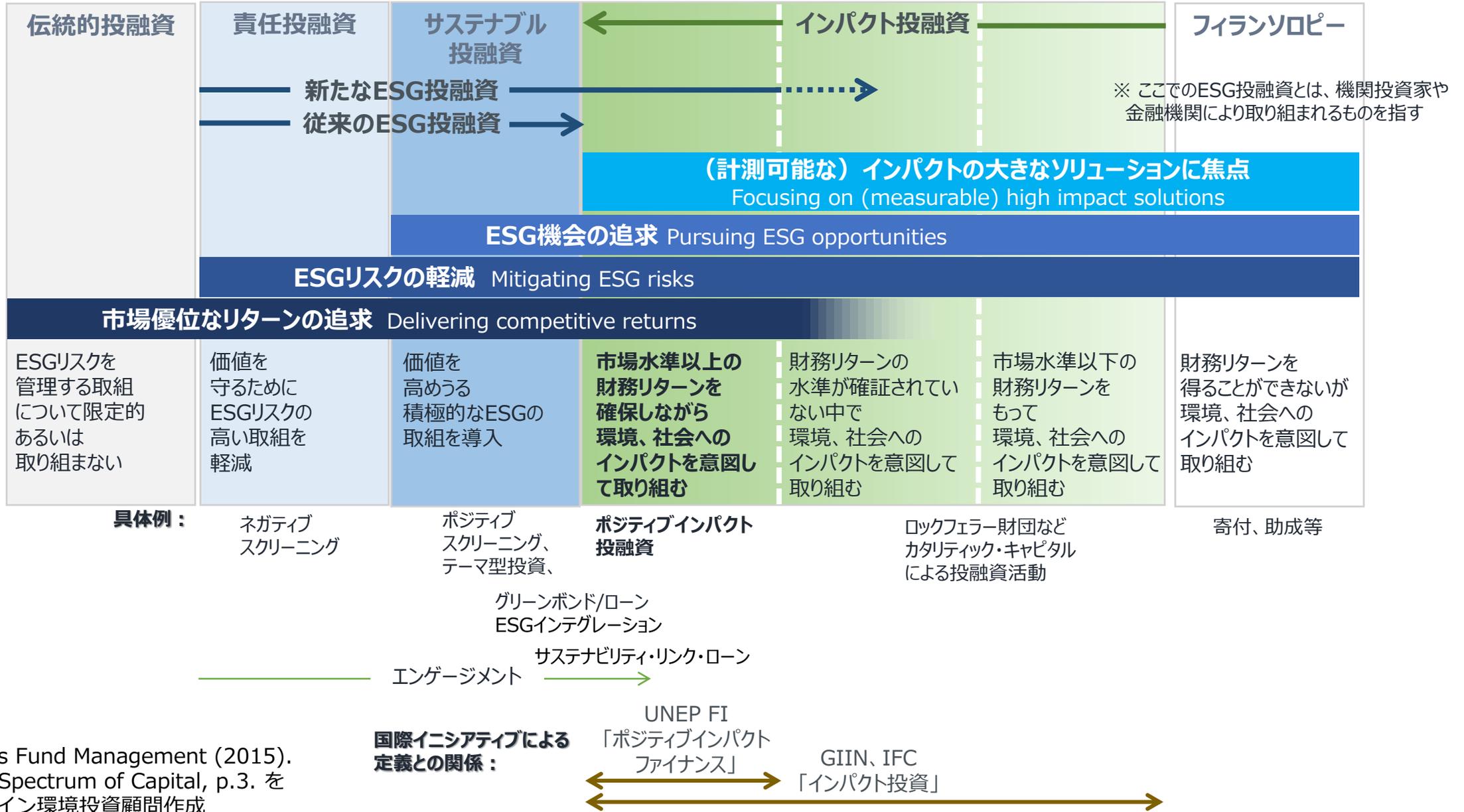


「インパクト投融資」の考え方

- インパクト投融資では、「リスク」「リターン」に加え、「実社会へのインパクト」という3軸目も考慮する。



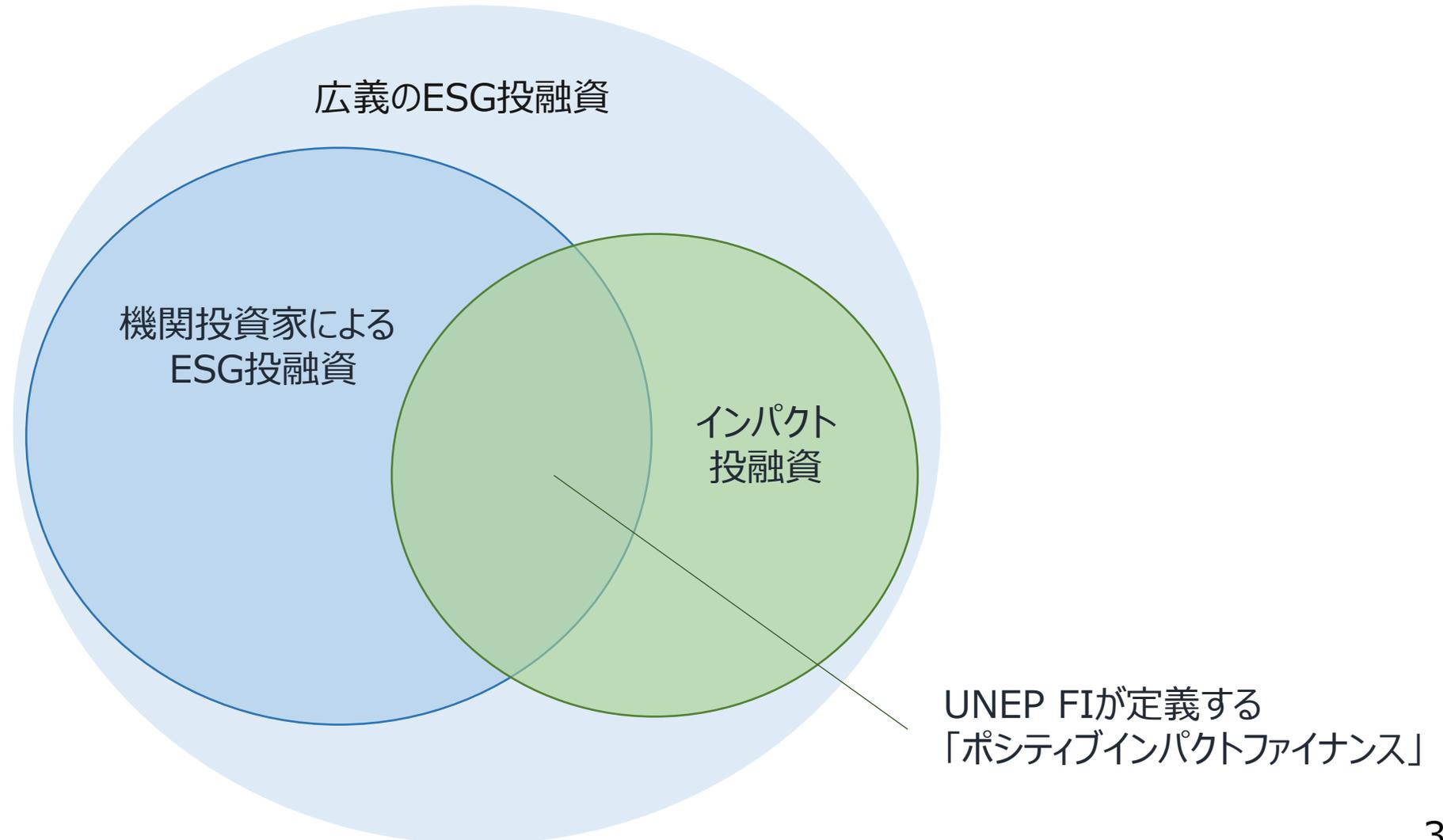
「ESG投融資」と「インパクト投融資」の相対的位置付け



出所) Bridges Fund Management (2015). The Bridges Spectrum of Capital, p.3. を基にCSRデザイン環境投資顧問作成

「ESG投融資」と「インパクト投融資」の相対的關係について（補足）

- 「ポジティブインパクトファイナンス」は機関投資家によるESG投融資の発展形として、従来の「インパクト投融資」と重なる部分と考えることが可能ではないか。



「インパクト投融資」の動向

- SDGs・パリ協定の達成に向け、金融においてESG投融資から社会的インパクトを志向する「インパクト投融資」への動きが世界的に進行中。
- 「インパクト投融資」は、取組主体、地域、対象が様々であり、様々なフレームワークやイニシアティブがグローバルで登場。
 - インパクト・マネジメント・プロジェクト (IMP)
 - グローバル・インパクト投資ネットワーク (GIIN)
 - 国連環境計画金融イニシアティブ (UNEP FI)
 - ポジティブ・インパクト・イニシアティブ
 - バンキング・プログラム
 - 国際金融公社 (IFC)
 - ワールド・ベンチマーキング・アライアンス (WBA)
 - インパクト・ウェイトド・アカウンツ・イニシアティブ (IWAI)

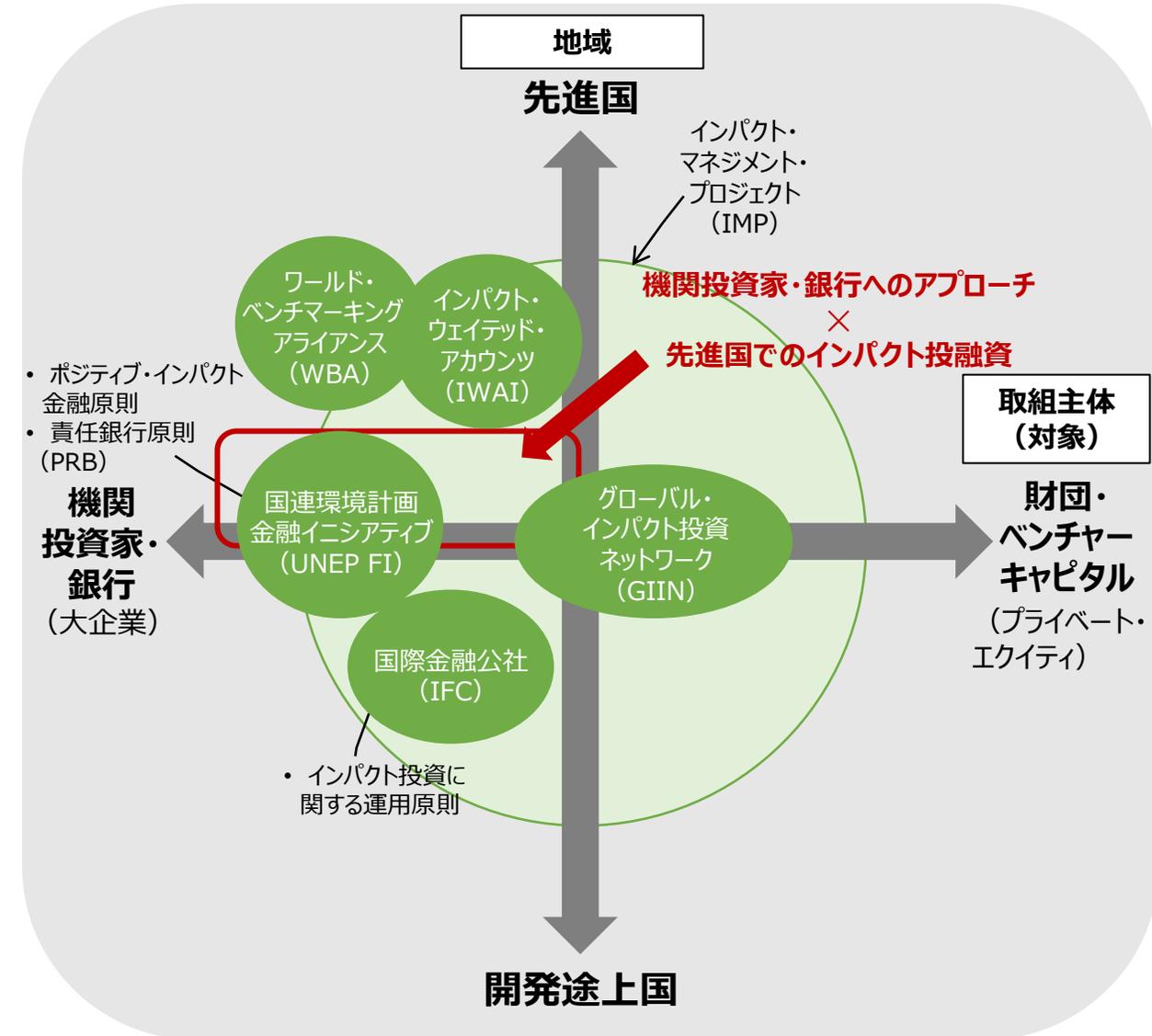


図 インパクト投融資イニシアティブの取組主体、地域、対象の比較
出所) CSRデザイン環境投資顧問作成